

第22回 京都府スポーツ少年団「南部ブロック予選会ジュニアの部」大会規定

【試合内容等】

- 1) バッテリー間の距離は14メートル、各塁間の距離は21メートルとする。
- 2) 試合は5回戦とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングに入らない。
- 3) 4回10点差になればコールドゲームを採用する。
- 4) 5回終了後もしくは1時間10分の試合時間が経過したとき、同点の場合は特別延長ルールを採用する。
- 5) 決勝戦は時間に関係なく5回戦とし、5回を超えて同点の場合は特別延長ルールを採用する。
※特別延長ルール[タイブレーク]: 最終出場選手で無死一・二塁にて継続打順で1回行う。
なお、同点の場合は、最終出場選手による抽選で勝敗を決する。
- 6) 3回以前で試合不能の時は、ノーゲームとする。
- 7) 3回終了後、試合不能の時は、コールドゲームとする。
- 8) 投手の投球制限は1日60球とする。(60球に達した時点の打者完結まで)
準備投球は、初回は7球、交代時は5球とし、その他は3球とする。
- 9) 作戦タイムは、1チーム1試合3回までとし、1回30秒とします。
- 10) 雨天時の中止の判断は、各試合開始の2時間前とする。

【ボーク等】

- 11) ボークは、即採用します。また変化球(カーブ)及びラフプレーは禁止します。
- 12) 投手が変化球を投げたとき、ストライクであってもボールと宣告し、直ちに注意を監督に告げ、再度投球した時は投手の交代を宣告する。

【ファールボール】

- 13) ファールボールは、飛んだ方向のベンチが取りに行くこと。
- 14) 捕球しても一連の動作で場外を出るとファールとする。

【移動ベース】

- 15) 移動ベースは選手又は審判がタイムをとり、審判が所定の場所にベースを置く。

【抗議】

- 16) ストライク・ボール・アウト・セーフに対する抗議は一切認めない。

【危険防止】

- 17) 危険防止のため、捕手はヘルメット・プロテクターレガース・スロートガードを着用すること。
打者及び走者はヘルメットを必ず着用すること。(ランナーコーチを含む)

【ベンチ】

- 18) 組合せ番号の若い方が1塁側とし、登録されている代表者、監督30番、コーチ29番・28番、スコアラー及び選手20名以内がベンチに入れる。

【メンバー表】

- 19) 試合開始30分前に、当連盟指定のメンバー表で2部提出する。

【棄権】

- 20) 試合予定時刻を過ぎてもチーム全員がグラウンドに揃わないときは、原則として棄権とみなす。

【その他】

- 21) 悪質なヤジ・選手個人へのヤジは絶対にさせないこと。
- 22) 不正なチームが発見されたときは、その時点で没収試合とする。
- 23) その他の競技規則は2022年度公認規則及び全日本軟式野球連盟の内規・当野球連盟のグラウンドルールを適用する。
- 24) 試合球はマルエスJ号とし、本部で用意する。

※ 駐車場内及び、試合中における災害・事故等については、施設・当連盟は一切の責任を負いません。
ベンチ及びグラウンド内は禁煙です。喫煙は所定の場所を利用下さい。またゴミは持ち帰って下さい。